

うめの樹のおすすめのお食事処

うめの樹の独断と偏見で選んだコアなお店!!

【 くいどころ龍芳 】

住所 : 〒420-0962 静岡県静岡市葵区東2丁目11
TEL : 054-247-3465
営業時間 : 11:30~14:00 / 16:30~19:50
定休日 : 月曜日

葵区東にある知る人ぞ知る「くいどころ龍芳」さん、住宅街の中にある中華料理屋さんです。担々麺がおいしいとの口コミが多く、量が多くてコスパも良いとの高評価のお店です。



お店は个性的ですが
駐車場は
店舗裏にあります!

天津飯と
スープのセット!



【 福寿司 】

住所 : 〒927-0027 石川県鳳珠郡穴水町字川島ア34
TEL : 0768-52-1032
営業時間 : 11:30~21:30
定休日 : 日曜日

穴水町で名誉町民でエッセイストの海老名香葉子さんが、営業を再開した穴水町川島のすし店「福寿司」にのれんを送った。海老名さんは戦時中、同町に疎開していた。同店とは10年以上付き合いがあり、店の再開を聞いた海老名さんから「ぜひのれんを作らせてください」と店主の松本志郎さんに申し入れがあったという。

4月26日夕、たとう紙み包まれて届いたのれんには「福寿司さんへ 海老名香葉子より」と染め抜かれている。色は妻の好美さんがカウンターの椅子の色と同じになるようにと若草色を選んだ。松本さんは「ただで本当にありがたい。もったいなくて掛けられないが、しまうこともできない」と話す。4月29日の大安に合わせて、店の入り口に掛ける予定だ。



穴水で最も老舗の「福寿司」



新鮮な海の幸! 絶品です!

うめの樹 No.18

有限会社アール・ツーウメハラ 静岡市駿河区小倉1394-1
TEL:054-203-6477 FAX:054-284-8120 編集・発行 2024.10.4

ホントすみません、強烈な暑さや湿度、おまけに台風10号のノロノロ日本縦断やらと、とにかく熱対策やカビの猛繁殖で忙しくて参りました…という言い訳に過ぎませんがm()m 書きたいことは山ほどあって、感動したパリオリンピック、サッカーだけでなく柔道やバレー、ピンポンや体操…。それぞれにドラマがあって見どころ満載で面白く、特に柔道は意味の分からない理不尽な判定や訳の分からないインチキルーレットなどもあり、今時こんな有りか?という数々の場面を何とか乗り越え金メダルを獲った人も負けちゃった人もいたけれど、とにかく面白かったと思います。見どころは満載でしたし、私個人とすればこんなにサッカー以外のスポーツをしっかりと観ることは初めてくらい堪能したかも知れません。ただ日本の常識を世界の常識だとは考えない方が善いですね。サッカーでも海外遠征や国際試合では当たり前のようにいろんなことが起きるので。

でも今回のテーマはそれではありません。台風10号の事、猛暑の中での遮断熱の事、今年も例年以上に猛烈に発生したカビの事でもなく、選んだテーマは『子供の貧困』の事です。数字的なデータはこのあと出てくるとして、何でこんな事になっちゃうのかな…と首をかしげることが多い子供たちを取り巻く環境や食生活についてです。弊社では以前から災害時に社員が困らない様にと取引先の食品工場や関係先からレトルト食品や缶詰などを備蓄し期限が来たら最初は社員達に配布しておりました。でも、社員も増え備蓄品の数も増える中でもう少し社会貢献なども考慮した配布・還元ができないだろうか!?と考へ、某社のBuddy Boxという災害用保存食品で栄養バランスが整った3日分の食糧52.5kgを『フードバンクふじのくに』へ届けております。子供食堂や社会福祉協議会、ウクライナ等の避難民支援へなど様々なところへ分配されます。私共とすれば顔の見えている生活困難な子供たちへ直接渡すことができればとも思うのですが中々そんな訳にも行かないのでフードバンクふじのくにへ贈呈しております。私の所属する団体にて某児童養護施設の子供たちと接する機会や薬物乱用防止教育、子供の貧困の話しや昔のヤンチャさとは何かが違う強盗事件や特殊詐欺事件の数々…など様々な講習や講演を拝聴します。全てがとは言わないまでも貧困家庭の子供たちは一般的?な家庭と比べ学習環境が悪く能力も低くなる傾向にあり、このことが社会的損失に直接つながるとの事です。学力が低いと大学進学はおろか、高校への進学も危ぶまれ、その後の非正規雇用や低い給与で働かなくてはならない状況から様々な問題がまた引き起こされてしまいます。子供自体も減っていて日本では中学生以下の子供の数よりペットの数の方が多いと聞きます。※ペットを飼うな…という事ではありませんのでご理解を。その少なくなった子供たちに対し、我が国の子供の7人に1人は貧困状態で、40人のクラスであれば5~6人は、「親とのショッピング」、「GWや夏休みの旅行」、「進学のための塾通い」、「家族で食卓を囲んでの団らん」など、このような経験に恵まれない子供たちが数多くいながらフードロスが絶えない現状と並行している事実があります。

某児童養護施設出身で街中で居酒屋を営んでいる若者がいます。一刻な男ですが何をつくっても美味しく安くて非常に良いお店で、『うめの樹』の最終ページにも是非、掲載したいのですが、多分本人にお願いすると断られるかなって気がしてお願いしていません。(次ページへ・・・)

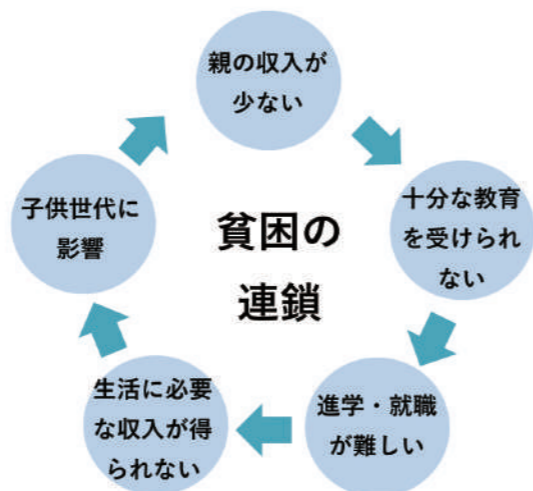
その彼も一緒に能登へ炊出しに行ったのですが、さすが料理人だけあって手際がよく助かりました。一見さんは殆ど入れないお店で、でも来てくれるお客さんには美味しいものを！が伝わってくるお店で何か大きな自分なりの目標や自分の経験から何かしたいを感じる男です。彼くらい芯が強くてしっかりしていれば何をやっても成功すると思うのですが、某児童養護施設の子供たち（小学生～中学・高校生位）とBBQなどをしてその後ゲームなどをした際に、願い事をプレートに書いてもらったら『お父さん、お母さんと早く一緒に住みたい』とか『一緒にご飯を食べたい』と書いてあり、今どきの子供だからもっと現実的な願い事「スマホが欲しい」とか「東京ディズニーランドやテーマパークに行きたい」みたいなことを書くのかな…と思ったのですが何とも泣かせるようなことが書いてありました。先ほどまで「おじさん、野菜はいいから早くお肉焼いて！」とか言っていた生意気な子供が…と思ってはいたのですがフタを開ければ…みたいな話で…。はたまた、最近の子供たちは熱中症で倒れる子供が凄く多いらしくその原因は朝ご飯を食べてこない事が起因しているとも聞きます。食べたくても食べれないのか、ただの偏食で食べたくないのかは分かりませんがこんなことで将来、日本は大丈夫なのかな…と思う今日この頃です。

豪雨災害が彼方此方で頻発していますが、奥能登の輪島・珠洲・能登町などでは9月21日集中豪雨により発災、24日現在、断水5000戸以上、停電3500戸続いており、まだ炊出しにも行ける状況ではありません。

相対的貧困と絶対的貧困

貧困には「絶対的貧困」と「相対的貧困」があります。絶対的貧困は発展途上国等で問題になっている、家や食べ物、着るものが乏しい状態のことをいい、相対的貧困は自国や周辺地域の生活水準と比べて収入が少ないことをいいます。

日本では7人に1人の子供が相対的貧困と言われています。子供の貧困は自分の身近にあっても、気づきにくく、本人にとってはそれが当たり前で、自覚していないことが多くあります。日本で起こっている相対的貧困には負の連鎖が大きく関係しています。厚生労働省の調べによれば、日本の17歳以下のこどもの貧困率は11.5%（2021年）で、約8.7人に1人のこどもが貧困状態にあるともいわれています。家庭が「相対的貧困」の状態にあることで、健やかな成長に必要な生活環境や教育の機会が確保されていない、次のようなこどもがいます。

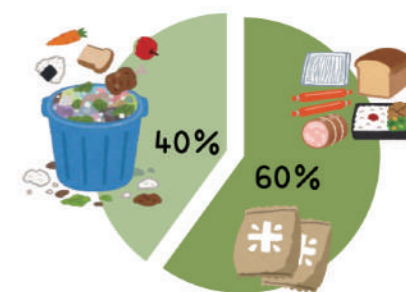


栄養バランスのとれた食事は、一日の中で給食しかない、高校や大学、専門学校に進学したいけれど、経済的な理由であきらめている、頑張っても仕方ないと将来への希望をなくし、学ぶ意欲をなくしている、こどもだけの時間が多く、保健衛生などの知識や生活習慣が身につかない、視野を広げる機会や文化的な体験に乏しく、こんな人になりたいというロールモデルがない、人とのつながりが少なく、社会的に孤立しているなど。少子化の時代に、この問題を放置していると、国や地域社会、企業の資源である人材に深刻な影響を与え、大きな社会的損失となります。

(政府広報オンラインより)

食品ロスとフードドライブ

貧困支援としてNPOが運営する子ども食堂や、学生ボランティアによる授業、スーパーなどに設置されているフードドライブなどがあります。フードドライブはアメリカで生活困窮者支援として始まりました。食べるものがなくて困っている人がいる中で、まだ食べられるのに廃棄したりと世界的にも問題になっており、世界で生産された食品のうち40%は廃棄されていると言われています。日本でも年間612万トンの食糧が廃棄されてしまっています。日本の食料自給率は38%と低く、62%も輸入に頼っているのに、毎日1人あたり1杯分のご飯を捨てているのと同じ量が廃棄されています。



世界での食品の廃棄

個人で寄付できるフードドライブには寄付する食品は賞味期限が2ヵ月あり、保存状態の良いものであること、常温で保存ができ、未開封のものなどの条件があります。フードドライブ、フードバンクで集められた食材はNPOで運営されている子ども食堂や福祉施設、生活困窮者の支援団体へ繋がる大切な活動です。2021年からファミリーマートでは店舗でフードドライブBOXを常設したり、他にもスーパーの入り口に設置されていたりするので、皆さんの身近にもこういった支援活動があるかもしれませんね。ご自宅に寄付できそうなものがないかチェックしてみてください。

日本の教育支援

日本は教育に対する公的予算が少なく、それが教育格差の要因とも言われています。世界的に比べても、教育への公財政支出の割合が低い国と認識されており、大学進学までにかかる費用は高額となってしまいます。こういった背景から、家庭への負担が大きいことが考えられ、相対的貧困世帯では進学や教育への支援が難しくなってしまうのです。2ページ目で紹介した、貧困の連鎖から抜け出すには十分な教育を受け進学し、就職をすることが鍵になります。

親の仕事の帰りが遅い、経済的に塾に通わせるのは厳しい、介護や労働などを親の代わりにしているヤングケアラー等、様々な理由で家庭での学習が難しい子供を対象に、家庭に代わる学習の場所と安心して過ごせる居場所を提供している学習支援などが各自治体にあります。こういった場所での支援ボランティアなども募集しています。どんなことでも自分にできそうな支援から始められると素敵ですね。



RCウメハラの動画紹介

ホットプレートを使って機器の放熱状態を再現しています。エコきーぱーによってどのくらい熱をカットできるのか、サーモグラフィで明らかに。ワットモニターで電気料金の比較も！ぜひご視聴ください！！

